



令和8年9月30日

学校説明会でいただいた主な質問にお答えいたします。
なお、入試や進学に関する質問については、県教育委員会とも調整のうえ、
後日あらためてお答えいたします。

【学校全般について】

音楽棟のホールを普通コースの生徒が発表などで使うことはありますか。	現在のところ、普通コースの生徒が授業や学校行事で音楽ホールを使うことは予定していません。
部活動がないということで夏休みは探究活動などがあるとのことでしたが、平均でどれくらいの日数を学校に行くことになりますか。	本校では、夏休み中も探究活動や自主学習、文化祭に向けた準備などで、必要に応じて登校してよいこととしています。また、夏休み中には、さまざまな講座（希望制）も予定されていますので、登校する日数は生徒によって異なります。
1学級35人とのことでしたが、担任は1人でしょうか。副担任はいるのでしょうか。	各学級にメインの担任は置いてはいますが、複数の教員でみています。
オープンキャンパスは今年度実施されますか。	現在、学校を会場とする説明会や授業公開等は行っておりません。
音楽コースと普通コースでは、どれくらいカリキュラムは違うのですか。	中学校は義務教育段階ですので、普通コース・音楽コースともに国が定める標準授業時数が基本となっています。ただし、普通コースについては、1年生で音楽と美術、総合的な学習の時間を増やしています。2年生は数学、3年生は理科の時間を増やしています。音楽コースについては、各学年の音楽の授業と1年生の美術の時間を増やしています。なお、学習内容については、教科の特性や生徒の実情などに応じて、コースにより異なる部分もあります。
私立・市立中学校と明和附属中学校の授業カリキュラムにはどのような違いがありますか。	私立中学校や市立中学校と比較してカリキュラムを編成しているわけではないため、お答えすることができません。本校としては、スクールポリシーに掲げている「本校における学び」を実現することを目指した授業展開に努めています。
旧校舎はこれからも使い続けますか。	新しい教室棟（北館）が完成して移った後は、現在の仮設校舎と西館・旧音楽棟は順次取り壊しとなります。

【学習全般について】

名古屋市内を研修したり、大学を訪れたり、蒲郡まで出かけたりしていますが、平日の授業時間中に開催するのでしょうか。土日にも開催することもあるのでしょうか。	総合的な学習の時間（MCJ）の授業として実施するものは平日ですが、希望者だけが参加するものは土日に実施することもあります。
普通コースの音楽の授業は、音楽科の先生が行うのですか。	普通コースの音楽の授業は、状況によって専任の教員が担当する場合と非常勤の講師が担当する場合があります。
学習における議論の時間が多いように感じました。他人が違う意見をもっているのは当たり前のことですが、それで衝突を生んだり、主張の強い子の意見がまかり通ったりしないか心配に思いました。協調性が求められる世の中でその後の社会生活にはどう活かせるか、どういう子になってほしいのか教えてください。	本校では、議論することを「自分の意見を相手に認めさせること」とは考えておりません。むしろ、自分と異なる考えに出会い、相手の考えを理解しようとする、そして、自分の考えもまた見直しながら、よりよい考えを共につくっていくことを大切にしています。仮に意見や個性がぶつかることがあっても、ねばり強く対話し、仲間と共に成長していける人になってほしいと考えています。

国際理解教育についてはどのようにお考えですか。留学制度などがありますか。	国際理解教育については、異文化への理解を深め、積極的に交流しようとする態度を育てるとともに、世界に関心をもち、よりよい社会をつくろうとする意識を高めさせたいと考えています。留学制度などはありませんが、明和高校のグローバルサイエンス交流会に参加するなどしています。なお、明和高校には英国やシンガポールでの海外研修プログラムがあります。
定期考査では順位や平均点の公表はありますか。	定期考査の順位や平均点は示していません。平均点や分布表は、考査の難易度や集団全体の傾向を見る目安としては有用ですが、一人一人の成績を評価することには向いていないためです。ただし、目標とすべき点数は伝えています。また、順位のように集団の中での相対的な位置を示すことも、本校においては適切でないと考えています。

【探究活動について】

グループ探究において、テーマ設定をどのように合意形成して決めているか教えてください。	グループ探究のテーマは、まず希望調査を行い、似たテーマを考えている生徒同士で話し合っ決定しています。
探究活動にどのくらい教員が介入されているのか疑問に思いました。生徒だけでやっていけるものなのか、どのくらい指導されているのか教えてください。	探究活動は、教員全員で支援していく体制をとっています。生徒一人一人と探究に関する面談等を実施し、面談の結果を踏まえて適切な支援や指導を行っています。また、必要に応じて教員から声をかけ、探究の方向性や方法について確認しながら進めています。
総合的な学習の時間（MCJ）における探究活動の評価の仕方はどのようにされているのですか。	一人ひとりの探究活動の様子や成長を踏まえ、文言による評価を行っています。
授業内での探究活動の時間は、1週間に何時間程度ですか。	総合的な学習の時間（MCJ）は、普通コース・音楽コースともに各学年、週に2時間です。

【行事について】

文化祭の一般見学ができる日はありますか。	中学校の文化祭は9月15日に実施しました。今年度は一般公開はせず、在校生の保護者のみお招きしました。来年度以降については今後検討していきます。
文化祭などの行事は保護者は参加できますか。保護者が参加できる行事はどれくらいありますか。	保護者の方には、文化祭をはじめ、授業公開や探究発表会などにお招きしています。
文化祭は中高共同ですか。	昨年度と今年度は、高校とは別の日に文化祭を実施しました。来年度以降については今後検討していきます。
中学3年生の修学旅行の行き先を教えてください。	本校の修学旅行は、「探究研修旅行」として、関東方面に行く予定です。
修学旅行やキャンプなどの宿泊行事はありますか。	宿泊行事は、2年生で野外活動、3年生で探究研修旅行（修学旅行）を実施します。

【学校生活について】

委員会活動と行事企画部は任意での参加ですか。全員がいずれかの委員会・企画部に所属するものですか。	委員会と行事企画部への参加は任意です。
委員会や行事企画部は週1回ということですが、週1回は多すぎると感じました。どのような理由で必要であるか、またその内容を教えてください。	週に1回、活動優先日として設定しています。委員会や行事企画部は、生徒たち自身が学校生活をよりよくするために、何をしたいか、どのように進めるのかを自主的に話し合い、決定して実施するための時間として位置付けています。したがって、ある程度の時間は必要であると考えています。
給食の際、カトラリーやナフキンを持参する必要はありますか。	ナフキンやランチョンマットなどを毎日持参してもらいます。カトラリーは給食業者が用意します。
入学後の家庭学習の時間と授業後の探究活動の時間の目安はどのくらいですか。	家庭学習や探究活動の時間の目安は特に設けていません。学習習慣を身に付けることはとても大切ですが、時間そのものよりも、生徒自身が考え、学びを自己調整していくことが大切であると考えています。探究活動についても同様です。また、各教科の学習と探究活動のバランスも大切です。そのために手帳を使って指導しています。
育ち盛りの男子には給食が足りないのではと心配になりました。ランチボックスなので、おかわりは難しいと思いますが、おにぎり等を持参し昼食時に食べることは可能ですか。	衛生管理等の理由から、おにぎり等の補食を持参して給食の時間に食べることは認めていません。ただし、食物アレルギーなど特別な事情がある場合は、弁当を持参いただきます。
遠方から通学する場合、連絡手段として携帯電話を所持させたいのですが、スマートフォンの持ち込みは可能ですか。	登下校中の連絡や防犯・安全確保のため、スマートフォンの持ち込みを認めています。ただし、授業時間帯は学業に集中するため、鍵をかけた各自のロッカーにしまっておくように指導しています。
高校生と交流する機会は具体的にどのようなものがありますか。現在、もしくは今後検討している取り組みがあれば教えてください。	高校生との交流は、SSH（スーパーサイエンスハイスクール）の事業として行っている、高校生の探究成果の発表会や最先端の研究者の講演会などに参加します。また、授業後や夏休み等を実施される高校生向けの講座や研修会に希望して参加することもできます。また、教科の授業における交流や、生徒会における交流も行っています。今後もさらに交流を深めていきたいと考えています。
部活動は高校生と一緒に基礎練習をできるような環境は全くないのですか。	附属中学校では、高校の部活動への参加も含めて、部活動は少なくとも当面は設置しないこととしております。授業後の自主的な探究活動や委員会活動、行事企画部の活動などの時間を確保するためです。平日の授業後や土日等にスポーツや文化芸術活動をしたい場合は、地域のクラブなどに所属して活動してください。

【中高の接続について】

明和高校へ入学する際に優遇されることはありますか。	明和附属中学校の普通コースに入学すると、高校入試を受けることなく、明和高校の普通科へ進学（内部進学）することができます。音楽コースについても同様です。ただし、普通コースに入学した生徒が明和高校の音楽科に、音楽コースに入学した生徒が明和高校の普通科に内部進学することはできません。
高校に進学するとき、高校受検で入ってきた生徒とクラスは一緒になりますか。その場合、各クラス均等に分かれるのでしょうか。中学校から入った生徒は別クラスになるのでしょうか。	附属中学校からの生徒と高校入試を経て入学する生徒は、高校1年生の段階から混合します。クラス編成については、生徒たちの成長の様子を見ながら検討していきます。
高校から明和に入る生徒さんの探究活動はどのようにになりますか。	明和高校における探究活動は、「総合的な探究の時間（MC）」を中心に取り組んでいます。1年生の「MCⅠ」で高校レベルの探究の基礎・基本を学び、2年生の「MCⅡ」で本格的な探究活動をグループで行っています。
高校生になるときは、中学生とは違う新しい制服に変わりますか。	高校生になっても、附属中学校の制服を着用することができます。明和高校では、伝統ある詰襟学生服とセーラー服を制服として採用してきましたが、附属中学校が開校する前年の2024年度に「明和ブレザー」を導入し、従来の制服とあわせて「標準服」と呼ぶことにしました。「明和ブレザー」は中学校の制服の上着と同じです。

【その他】

学校として「自由」をどのように考えているかを教えてください。また、生徒の皆さんがこれをどのように捉えているかを聞かせてください。	明和高校には、生徒自らが学校生活を送る上でふさわしい行いをするために定めた「生徒心得」があり、その中に次のような記述があります。「社会を構成する人々が常に心得ていなければならないのは秩序である。私たちは社会人として、立派な人格の完成につとめ、健全な中道を歩まなければならない。若人の血潮と情熱とは私たちの誇りであるが、情熱のみちびくままの行動は、危険をよび、過失を犯しやすい。私たちは充分注意して他の迷惑にならないようにしなければならない。」明和高校が自由をどのようなものとして捉えているかは、ここに表現されています。また、生徒も先輩たちの考え方を受け継いでいこうとしています。
バイオリンを弾いた生徒さんは普通科ですか、音楽科ですか。どのように選抜されたのですか。	説明会でのウェルカム演奏の奏者は高校の音楽科の生徒です。当日のスケジュールが空いている生徒に依頼していますので、特に選抜をしているわけではありません。
大学受験への対策はどのようなものがありますか。	附属中学校では、大学受験対策や大学受験を念頭に置いた先取り学習は行っていませんが、すべての教科における探究的な学びと「MCJⅡ」「MCJⅢ」における探究活動を進める中で、幅広い知識と深い思考力が身に付き、大学で学ぶために必要な学力となっていくと考えています。
高校に入って、新しく部活動をつくることはできますか。	明和高校の部活動は、教育活動の一環として、活動内容や指導体制、安全と活動場所の確保など、学校として責任をもって運営できる体制を整えることを大切にしており、現状では新たな部活動をつくることはできません。